

信用格付を付与するために用いる方法の概要（保険）

フィッチ・レーティングス（フィッチ）による保険会社の格付基準は、保険会社ならびにその発行債務および保険契約者に対する債務の格付にあたって、フィッチが考慮する最小限の格付要素を説明するものである。末尾記載の格付基準レポートは、フィッチによる保険会社格付のすべてに適用される一般的原則を示している。

フィッチは、この格付方法が保険会社およびそれと同様のリスクを引き受ける企業に、一般的に適用されると考えている。同レポートで示されるガイドラインの範囲は意図的に広がっているが、これはフィッチの分析プロセスが動的であり、また、範囲を狭めた、または過度に厳格な手法では発行体ごとの独自の特性が捕捉しきれないためである。保険会社の分析にフィッチが用いる主な要素は次のとおりである。

- 業界特性と事業環境
- 企業特性とリスク管理
- 財務内容
- 経営戦略とコーポレート・ガバナンス
- 所有形態、サポートおよびグループ要素

フィッチでは、これらの格付要素のそれぞれまたは各要素内における様々な構成項目について、予め「ウエイト付け」を施すことはない。それは、適切なウエイト付けが、個別の状況に応じて変わり得ると、フィッチでは考えているためである。一般的な指針として、一つの要素がその他に比し著しく弱い場合には、この最も弱い構成要素が分析上でより大きなウエイトを占める傾向がある。

本格付基準は、その対象範囲内の特定の企業または債務商品に格付を付与する際に、フィッチによって考慮される要素を特定している。個別の格付または格付アクションの各々において、この基準上の格付要素のすべてが必ずしも適用されない場合がある。個別の格付アクション・コメンタリーまたは格付レポートでは、個別の格付アクションに最も関連する要素について論じられる。

本格付方法の詳細については、「Insurance Rating Methodology」（2011年9月22日付格付基準レポート）をご覧ください。